

神奈川県移行教育をすすめる仲間の会

ニュース NO 28 2018.4.11

発行者：「神奈川県移行教育をすすめる仲間の会」運営委員会

TEL 045-228-7704 FAX 045-228-7717

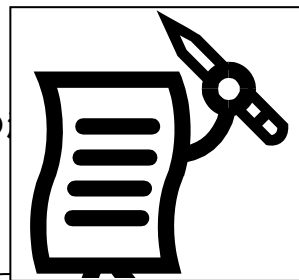
Eメール：i.kngw@chime.ocn.ne.jp

2年課程通信校受験の要・小論文

1月28日学習会で再確認。

「小論文の書き方入門」は永田先生、「なぜ?准看護師は差別?区別?」は林先生を迎えての学習会を1月28日に開催しました。とても深く、内容の学習会でした。エッセンスのみ紹介します。

かなり高い倍率の養成校だからこそ想定されること



試験官は、この人は、准看護師ではなく、看護師になろうとする、その考え方、今までの自分の看護を振り返ってみて、何をどう考えているのだろうか、そこを読み取ろうとするのではないだろうか?

とにかく、まずは、自分の看護について実践を通して考える。⇒その考え思いを文章にする。⇒学校から与えられたテーマに対しての自分の回答が小論文。

800字程度の中に序論・本論・結論を。

今回は実践の時間はとれませんでした、5月・6月は、ばっちり。乞うご期待。

5月27日・6月10日は小論文学習会

～詳細は別添お知らせ参照～

@@

准看護師制度の矛盾(安い・早い・便利)



林千冬先生は、「今改めて看護とは何かが問われている」と具体的な事例を通して冒頭触れられました。そして「准看護師養成制度」と「看護師の特定行為にかかわる研修制度」に。

准看護師制度は国の看護師養成政策の失敗、短期養成で早く、養成費用が安く、雇用主にとって確実な人員確保の手段(お礼奉公は違法とされたが、現在もよく似た形の奨学金制度も残っている)と指摘。准看護師制度は看護職が分断され連帯できないとも指摘。

なぜ日本の准看護師は自ら制度廃止を訴えたのか「当事者だからこそ、准看教育の不十分さ、制度の矛盾がよくわかる」『教育の不足は各自の努力で補ってきた』『後輩には同じ思いをしてほしくない』『だからと言って泣き寝入りはしない』『通信制による移行教育の保障を』と。

神奈川県を「准看護師要請停止→教育の質」向上先進県にと応援メッセージ。

これからの制度問題への取り組みとして

①看護を志望する人たちに適切な進路指導 ②准看護師養成所を看護師要請に切り替える

③奨学金制度の充実 ④現在の准看護師への進学支援(奨学金・職場の配慮、休職制度)と指摘。

(先生は前々日まで海外で調査、前日は大学で講義という超多忙な中講演いただきました)

私たちの取り組みへの確信となり、もっと大きく運動をと懇親で確認しました。

3月7日、厚労省・看護Iの交渉で、看護職員の夜勤改善・大幅増員・特定行為などを中心に全国の仲間47名で交渉。京都のアンケートで2年課程通信制の入学要件7年になった事を6割が知らないと回答、周知すべきと発言がありました。

神奈川含め、参加者は、制度統合の立場に立っているのかと強く追及。統合の立場は変わっていないと厚労省。

今すべきは、准看護師養成を停止すること、看護制度の即時一本化を追求しました。

まだある？お礼奉公？



奨学金には、県や自治体・学校として・病院医療機関、等々、様々な形態があります。1990年代に、「奨学金を出してやっているから〇年の勤務義務がある」「勤務もしないで進学などは約束違反」「卒業させない」等等お礼奉公は人権問題と社会問題となりました。神奈川でも裁判闘争がありました。全国的な運動の中で、厚生省は95年5月「お礼奉公」是正通知を出しました。以降、県医労連では、県の看護指導班に相談した事例もあります。

以前ほどひどい事例の相談は少なくなりましたが、つい最近も相談がありました。「看護師養成校、入学時に奨学金の説明があり、最低金額を借りた。その奨学金は学校と関連のある医療機関の奨学金。卒業後違う病院に勤務したいが、全額一括返済する旨の書面提出を卒業式前日までに求められた。」と相談。

弁護士や関連機関とも相談し労働組合として対応、分割返済となりました。

県の奨学金は申込が少ないと縮小に…
予算を増やさねばと担当者が困る位
多くの申し込みを

神奈川県奨学金活用!

- ☆2年課程通信養成校入学後に申請
- ☆近隣の養成校に申請について広報
- ☆申請があれば(予算の枠内)ですが対応(現状では足切なし)
- ※他の都道府県では2年課程通信学生を対象外にしてるところもあり。
- ☆問い合わせは神奈川県に。
- ☆仲間の会にも気軽に相談を

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年も放送大学夏季集中講座学習会決定

時 7月29日(日)9:30~18:30

所 ウィリング横浜

**科目 成人看護学・小児看護学・
精神看護学・老年看護学・
母性看護学**

詳細は別添お知らせ参照